

『その中の一人は、自分がいやされたのを知って、大声で神を賛美しながら戻って来た。  
そして、イエスの足もとにひれ伏して感謝した』(ルカ17章15節-16節)



感謝という漢字ですが、そこには興味深い意味があります。「謝」という字は「言」と「射」という字で成り立っています。すなわち感謝とは「自分の感じていることを言葉であらわし、相手の心に射る」ということで、それは私達が言葉をもって自分の感じている気持ちを伝えるということなのです。また「謝」という時には「謝る」という意味もあります。自分のために労をとってくれた、配慮してくださった、そのことに申し訳ないと感じつつ(とても日本的な考えですね)、その時の気持ちを言い表すということ、そこに感謝の本来の意味があるようです。こう考えますと漢字の世界は深いですね。

ルカ17章には思い皮膚病をかかえた10人の人達がイエス様にあって癒されたという記録があります。しかし、その癒しを喜び、イエス様のもとに帰ってきて感謝したのは一人だけでした。この人が何年、この病に苦しんでいたのかは分かりません。しかし、その日は彼にとりまして人生最良の日となったに違いありません。そして、それは他の9人にとりましても同じでありましょう。しかし、彼らは戻ってきてその感謝をイエス様にあらわすことはありませんでした。しかし、この一人は大声で神を賛美しながらイエスのもとに帰ってきました。そして、イエスの足元にひれ伏してありったけの言葉をもってイエス様が彼に成してくださったことに対する感謝を言い表し続けたことでしょう。

私達はどれだけ感謝の言葉を言い表しているのでしょうか。「ありがとう」という一言が、私達の口から放たれる時、相手の心に、そして私達の心にも平和と喜びがおとずれます。もしこれまで以上に私達の口から「ありがとう」が言い表されるのなら、あちこちで笑顔が生まれるでしょう。「変革！」と叫ばれているご時世ですが、それはワシントンだけでなされるものではないのです。

皆さんの年末年始が神様の恵みに満ちたものとなりますように。  
よかったら私達の教会でもたれる諸集会・礼拝にいらっしゃいませんか？

#### 11月20日(日)

サンクスギビング礼拝: 日語(英語通訳あり)9:00am、英語礼拝10:30am

#### 11月23日(水)

◆日英合同サンクスギビング・イブサービス 7:00pm (サービスの後にパイを楽しみましょう!)

#### 12月11日(日)

◆日英合同礼拝 10:00am 後、クリスマスランチ、クリスマスプログラム

#### 12月16日(金)

日語キャンドルライトサービス 7:00pm

#### 12月31日(土)

大晦日感謝集会 うどん&そばナイト 7:00pm

#### 1月1日(日)

日英合同礼拝 10:00am

サンディエゴ教会日語部牧師: 大倉 信